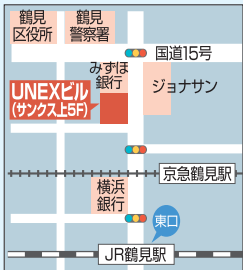


鶴見区社協より

〒230-0051
鶴見区鶴見中央
4-32-1
UNEXビル5F
鶴見区社会福祉協議会
(☎504-5619
☎504-5616
Eメール:
info@yturumi-shakyo.jp)



◆送迎サービスをご利用になりませんか? ◆

鶴見区内にお住まいの要介護、高齢者の方々が安心して通院等の外出ができるようボランティアによる送迎サービス(有料)を行っています。ご利用ご希望の方はご相談下さい。※利用するには事前の登録が必要となります。

○利用日時:
月～土 9:00～17:00
○問合せ:
☎502-2686 (送迎専用)



◆精神保健福祉ボランティア講座 ◆

○日時: ①12/5 ②12/12 ③1/16 ④1/23
すべて水曜日 13:30～16:00
※②のみ10:00～12:00
※12月第4週にボランティア体験があります

○内容: 「こころの病気って?」「病気の方への接し方」「当事者からのお話」他

○会場: UNEXビル6階
○その他: 先着30名(11/15より受付開始)。無料
○連絡先: 鶴見区役所福祉保健センター
障害者支援担当(☎510-1848)

◆お世話になっています! ◆

区社協は様々なボランティアに支えられています。

●カメ吉 手芸ボランティア

区社協ボラセンのマスコットキャラ「カメ吉」がアクセサリになりました! 作ってくれているのは、本町通にお住まいの河野喜美子さん。これまでに作成したカメ吉は200匹以上! もちろん、すべて手作りです。今後は、ボランティア登録者などに配布していく予定です。



●福祉つるみ カメラマン

福祉つるみの表紙、素敵な鶴見の空を撮ってくれているのは、白鳥威さん。第53号からご協力くださっています。

「私の選暦の祝いに子ども達が、デジタル一眼レフカメラを買ってくれました。それ以来、写真家の気分です。」



●福祉つるみ 配達

福祉つるみを配達してくれているのは、区内障害者地域作業所の皆さん! (一部地域を除く) ご協力くださっている作業所は9箇所(友愛の家、虹、ふれんど、一歩舎、一歩舎3号館、Peace、ウィズ、れんげの家、活動ホームとみや)です。配達証をつけた配達員を見かけたらお声をかけてください!



笑顔で配達、虹の皆さん

ボラ募集&イベント

問い合わせはすべて鶴見区ボランティアセンター(区社協内 ☎504-5625)へ。

◆作業所ボランティア募集 ◆

障害者が自主製品の製作等を行い、地域の中で社会活動を行っています。一緒に楽しく活動しませんか?

○日時: 平日(要相談)
○場所: 地域作業所 ふれんど、一歩舎、自然館、虹
○内容: 縫い物・軽作業・販売等の補助、配達・レクの手伝い等

◆急募!! 地域訓練会「エンゼルの会」ボランティア募集! ◆

発達に遅れがある子どもと一緒に遊んでくれる方、お待ちしております。

○日時: 火・木曜日(週1でも可) 10:00～13:00
○場所: 地域活動ホーム「ふれあいの家」(生麦駅徒歩5分)



○内容: 保育全般・外遊び・室内遊び等の補助
○謝礼: 1回につき1,500円

◆日本赤十字社「幼児安全法講習会」開催! ◆

子どもの起こりやすい事故の予防と手当てについて学びます。

○日時: 12月19日(水) 13:30～15:30
○場所: UNEXビル6階
○その他: 無料、保育付。先着30名
○申込: 住所・氏名・TEL・年代、保育を希望する場合はその旨記載し、電話・FAX・E-mailにて区社協まで申込

◆第6回「こころの健康フェスタ」 ◆

うつ病と認知療法についての講演会。

○講師: 田園調布学園大学 舩松克代先生
○日時: 11月17日(土) 13:30～16:00
○会場: 鶴見公会堂1・2号館
○その他: 無料。先着80名。
○連絡先: 精神保健ボランティアグループ 詠夢の会(柳谷 ☎583-0198)

「鶴見の空クイズ」& 愛読者アンケート

◆カメ吉マスコットと図書カード1000円分を5名様にプレゼント! ◆

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください! 正解者に抽選で、今号で紹介したカメ吉マスコットと図書カードをプレゼントします。

応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答 ②〒・住所・氏名・TEL・性別・年齢 ③福祉つるみを手に入れた場所 ④福祉つるみのご意見・ご感想を記入の上、2月28日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は発送をもって換えさせていただきます。

前号の正解は「③矢向地域ケアプラザ」でした。

区社協HPに、クイズのヒントがあります。ぜひアクセスしてみてください!

点字・録音版も!

FUKUSHI-TSURUMI

福祉つるみ

横浜市鶴見区社会福祉協議会

vol. 56

http://www.yturumi-shakyo.jp/

【第56号】2007年10月1日発行
編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

C O N T E N T S

地区社協ってなんだろう?

子育て・高齢者サロン

【つるボラ登場】こんにちは・国際交流の会
できることを手伝いました! Café de Séraphique

区社協より ◆ボラ募集&イベント

【表紙写真(2007年9月撮影) : ここは鶴見のどこの空? 問題は下に...】

10月1日～本格アジア料理開始

その他にも、お客様のご要望にお答えした新たなリブールを皆様にご紹介いたします。

コチラの広告をお持ち頂くと、5名様まで入館料金300円割引。

有効期限2008年3月31日

宴会のご予約やパティスエテやタイ古式、フットケア、無料送迎バス(鶴見駅、川崎駅、綱島駅)などに
関しましては、当館HP【http://www.libur.co.jp】をご覧ください。お気軽にお電話ください。

☎045(575)7573

営業時間

午前10時～翌朝8時まで

入館料金

※バリアフリー設備・館内風呂・タオル・アメニティ類、全て入館料金に含まれます。

	平日 (12時～24時)	土日祝日 (12時～24時)
大人 (12歳～64歳まで)	1,890円	2,100円
小人 (0歳～11歳まで)	1,470円	1,680円
シニア (65歳以上の方)	1,470円	1,680円

※シニア料金で入館を希望される場合は生年月日が証明できるものをご提示下さい。



バリアフリー温泉スパ施設(駐車場完備)
スパ・リブールヨコハマ
住所: 神奈川県横浜市鶴見区獅子ヶ谷2-39-18

ここは鶴見のどこの空? クイズ

見晴らしのいい写真ですが、さて、どこの橋から見える風景でしょうか?

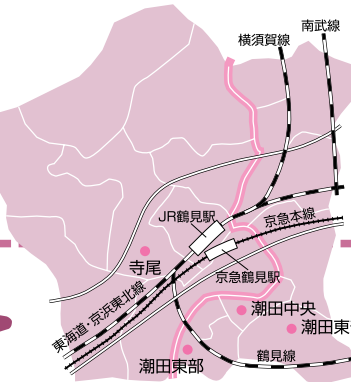
①めがね橋
②梶山橋
③森永橋

応募方法は

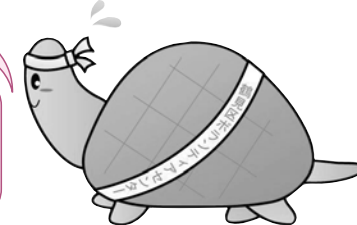
4ページをご覧ください

撮影者: 白鳥 威

「地区社協ってなんだろう？」



皆さんは「地区社協」が何の略だか、もちろんわかりますよね。鶴見には18の地区社協がありますが、その活動は地域によって様々。地区社協特集第3弾の今回は、代表的な活動のひとつ、サロン事業を紹介します！



子育てサロン 寺尾地区 よつばのクローバー

ママが作り、ママが迎えるサロン

残暑の中、獅子ヶ谷会館の玄関先は色とりどりのバギーで埋まりました。ここで月に1回開かれるよつばのクローバーは、ママ仲間が自分たちの理想のサロンをめざして実現した場です。評判を聞き、今日初めて参加した親子も多くいました。歌や工作、自己紹介やフリートークなどが行われる中、子どもたちは主任児童委員やケアプラザ職員、子育てアドバイザーなどに見守られながら遊び回ります。



先輩ママのアドバイスはとても役に立ちます(フリートーク)

「引っ越してきて間もなくここに来て、友だちができたのが良かった」「月1回だから、この日を楽しみにできる」といったママの声に励まされ、スタッフは「同じ育児中の親なので、子育ての悩みやストレスが、少しでも共感できるのかもしれないね」。



こんな笑顔があふれる時間です

高齢者サロン 潮田中央地区 ひだまり

毎週2回、楽しい午後のひととき

ふれあいの場 ひだまりは毎週2回(火・金)、コミュニティハウスと町内会館で開かれます。民生委員が中心となり、カラオケ、ゲーム、囲碁将棋、健康に関するお話などのメニューを毎回用意しますが、“お好きな時間に来て、自由にすごしていただく”が基本。

「互いの家を訪ねるより、こういう場で会うほうが気が楽」と言う一人暮らしの女性は、お仲間と世間話。笑うといい顔になる男性は「カラオケが楽しくてさあ」と参加の理由を話してくれました。20人ほどが集まったこの日はゲームとケアプラザ職員による簡単な体操、健康アドバイスがありました。



脳を刺激するゲームやレクリエーションが笑いを誘います(左は漢字ゲーム、右は指体操)

もっと知りたい カメ吉による地区社協Q&A!



Q 地区社協は何の略？

A 地区社会福祉協議会。住民一人ひとりがより住みやすい地域にしていけるために様々な福祉活動を行う団体です。

Q 構成員は？

A 自治会、町内会、民生児童委員、ボランティア、地元企業など、様々な人がメンバー。だから地域で幅広い活動ができるんだね！

Q 活動の財源は？

A 市社協・区社協からの補助金や区社協賛助会費の還元金(賛助会費の55%)が主。区民からの会費が地元で還元される仕組みだね。その他にもバザーの収益金や寄付を確保している地区もあるよ！

Q サロンってなあに？

A 地域の人が気軽に集い、楽しく話ができるような居場所のことを「サロン」とよんでいます。皆さんの近所にもサロンはありますよ。情報は最寄りのケアプラザか区社協までお尋ねください！

会食会

高齢者等を招いての食事会。学校と協力し、子ども達との交流も。

広報

広報誌を発行し、地域の福祉情報を発信。

調査

高齢者世帯等の調査を行い、見守り活動につなげます。

団体支援

助成金や会場手配などを通じ、地域で活動する団体を支援。

見守り活動

高齢者宅等を訪問。声かけ・安否確認などを行っています。

研修会

健康や介護保険など、地域の関心に即した勉強会。

他にもこんな地区社協活動

(内容は地区により異なります)

「うちの地区での活動は？」「私も参加したい」という方は→



ボランティアグループ紹介

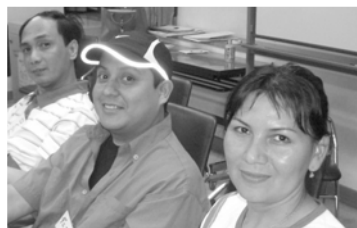
「数多くある国の中で日本の鶴見に来てくれた外国の人たちに、日本に来てよかった、鶴見に住んでよかった、と思ってほしい…」そんな願いをもって始めた活動が、13年になります。



すべて日本語による授業。みんな真剣です

特定非営利活動法人 ◆こんにちは・国際交流の会◆ (プロフィール)

設立：平成6年(平成16年にNPO法人化)
活動日：毎週金・土 など
活動場所：鶴見公会堂・潮田地区センター



日本語の勉強、おもしろい!

NPO法人こんにちは・国際交流の会では、日本人と外国人とが交流を深め、互いの文化を理解し、仲良く生活することを目的として、日本語教室や交流事業を行っています。

日本語教室で使用するテキストはオリジナル。生徒の声をもとに日常使用する会話を中心に作成しました。さらに内容は毎年見直しをするという徹底ぶり。

「カッコよくなくて

いい。ずっと続く息の長い活動にしたい」と代表の岡庭さん。

「こんにちは」と、いつでも誰とでも気軽に交わすことが出来る鶴見を目指して、メンバーは今日も活動しています。



できることを手伝いました!

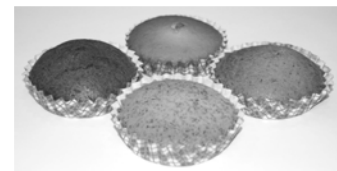
マドレーヌ改良作戦に「協力しましょう!」



寺谷のバス道路に面した店頭

障害者地域作業所れんげの家の人たちに美味しいマドレーヌの作り方をアドバイスした西田憲正さんは、洋菓子店カフェ ドゥ セラフィックを経営するシェフパティシエです。店を教室代わりに、ケーキ・クッキー作りと接客が一段落する夕方、共同作業で進めるマドレーヌ作りの工程を簡略化するため材料の混ぜ方を中心にコツを伝えた、と言います。

「作業所には子どもの頃からの知り合いも通っていたし、頼まれたことが自分にできることだったので協力しました」と西田さん。改良版れんげの家のマドレーヌが評判になることを願っている一人です。



大好評!生まれ変わったマドレーヌ 購入のお問い合わせは、れんげの家(☎504-3374)



念願の店を2年前にオープンした西田さん